

2024 年 9 月

ニュースリリース

年金基金向け運用の包括受託事業（OCIO）を日本で提供開始

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は日本の企業年金基金などに向け、運用を包括的に請け負う事業（OCIO、アウトソーシング・チーフ・インベストメント・オフィサー）の提供を開始、資産運用ビジネスの拡大を目指します。

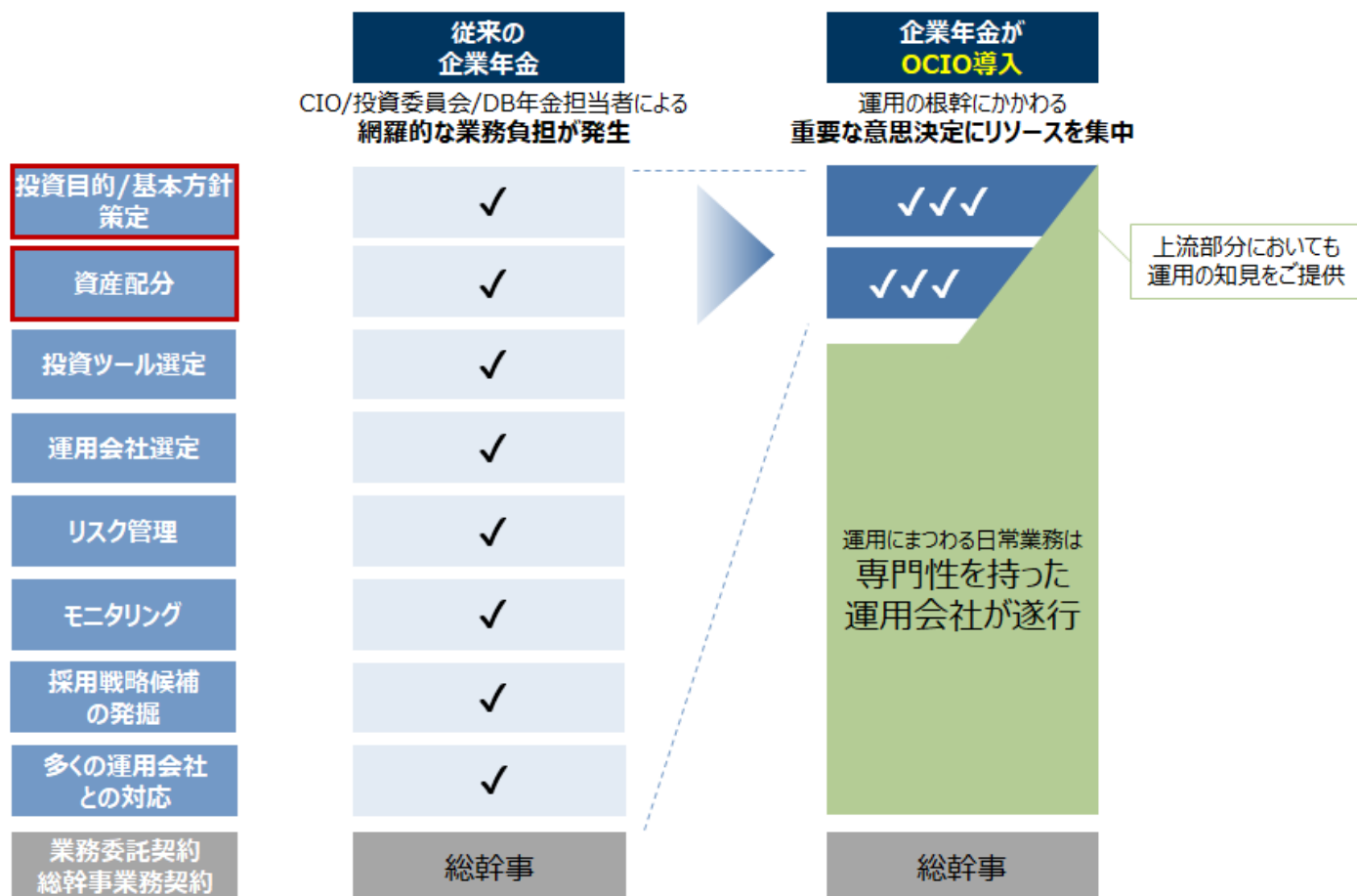
OCIO は運用にまつわる日常業務を専門家にアウトソースすることにより、アセット・オーナーの業務負担を軽減し、運用の根幹にかかわる重要な意思決定にリソースを集中することを可能とします。専門性の高い運用と効率的な運営を享受できるため、欧米では 2008 年の金融危機以降急速に拡大しました。

今般、策定された「アセットオーナー・プリンシプル」において、アセット・オーナーは受益者等の最善の利益を追求する上で、専門的知見に基づいて行動し、運用目標・運用方針に照らした人材確保などの体制整備、適切なリスク管理、ステークホルダーへの説明責任等が求められています。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントは、米国において OCIO サービス受託額 1 位のプロバイダーであり*、グローバルで培った経験と専門知識を駆使した戦略的資産配分策定のご相談から透明性の高いモニタリングおよびレポーティングに至るまで運用領域における付加価値のご提供を目指します。

OCIO の導入によりアセット・オーナーの抱える課題へのソリューションとガバナンス強化に貢献できるよう、より一層努力を続けてまいります。引き続きご愛顧の程よろしくお願いいたします。

* 出所: Cerulli Associates: "U.S. Outsourced Chief Investment Officer Function 2022" 時点: 2023 年 1 月

「従来の企業年金」と「企業年金が OCIO 導入」した際の違い



上記は例示を目的とするものです。上記のリスク管理とは、ポートフォリオのリスクを監視し、一定水準に管理することを目指したものであり、必ずしも低リスクを目的とするものではありません。